

担当教員：小島

2018年度人間環境学部キャリアチャレンジⅡ期

コース名：「東京の森と都市をつなぐ“木育”普及プロジェクト・インターン」

1. 目的

山梨県を源流として東京湾に注ぐ多摩川流域には山村から大都市まで様々な地域があります。多摩川上流域の東京都奥多摩町は豊かな森林が広がる東京都の水源地域です。しかし、下流域の都市への、水をはじめとする多様な生態系サービスを保全するためには、地域をこえた関係性の構築が不可欠です。

そこで本コースは、奥多摩地域の森林の保全事業、特に木材の東京都市部における利用を促進するソーシャル・ビジネスに取り組む企業への研修を通して、持続可能な地域社会を担うビジネス人材を想定したキャリア形成への機会とします。もちろん、自治体職員やその他公的機関、NPOなどで活躍人材も想定しています。

2. 受け入れ団体

株式会社東京・森と市庭（ <http://mori2ichiba.tokyo.jp/> ）

※2018年度秋学期の「地域形成論」でゲスト講師をしていただいた人間環境学部OBの菅原和利さんが受け入れ担当者です。

3. 対象学生と条件

2018年度の2～3年生及び2019年度に2年次に進級予定の2018年度の1年生を対象とします。法政大学人間環境学部の学生としてソーシャル・ビジネスのミッションを理解し、誠実に研修に取り組む意欲があることが必須条件です。

4. 対象人数

3名とします。

5. 実施日・実施場所と研修の概要

木材の産地である東京都奥多摩町と東京都港区の六本木オフィスに通いながら、東京都町田市内の団地における防災イベントを利用した木育普及プロジェクトの企画運営に携わります。全行程、日帰りです。

実施日と実施場所は以下のとおりです。

2月：①2月13日（水）、②14日（木）、③20日（水）、④21日（木）、⑤27日（水）

3月：⑥3月8日（金）、⑦9日（土）、⑧10日（日）、⑨13日（水） 合計9日間

※2月13日・21日・27日が奥多摩本社、2月14日・20日、3月13日が六本木オフィス、3月8日・9日・10日が町田市の町田山崎団地です。

※行程は、プログラムの企画運営上の都合により変更になることがあります。

※学生の出勤に配慮して、奥多摩本社は10時以降の集合を予定しています。

6. 費用

現地までの交通費と昼食費です。

7. 選考から研修への流れ

①2018年11月30日（金）～12月13日（木）：募集期間

※志望調査票を学部HPから入手するか、58年館1階の人間環境学部の窓口前で入手し、同窓口の専用ポストに提出すること。志望理由の記述はレポート形式です（1000～1200字程度）。

②2018年12月14日（金）～17日（月）：書類審査期間及び追加募集の開始予定

※志望調査票に基づいて第1次選考を行います。定員に満たない場合は追加募集を行います。書類選考の結果及び面接による第2次選考については、BT24階のキャリアチャレンジ専用掲示板または小島掲示板で確認してください。

③12月18日（火）：面接対象者の発表（掲示とメール）

※面接対象者は、BT24階のキャリアチャレンジ専用掲示板または小島掲示板で掲示し、かつメールか電話で連絡します。

④12月19日（水）～1月12日（土）：面接期間（詳細は未定、後日発表）

※追加募集の応募者に対する面接は、別途、行います。

⑤2019年1月15日（火）：研修生発表（掲示とメール）

⑥1月中旬～2月上旬：学内で事前研修（詳細は未定、後日発表）

※日時・時間・場所は別途連絡します（定期試験に配慮します）。

※研修生はインターンシップ保険に加入します（学生がキャリアセンターで手続き行いますが、費用は大学が負担します）。

⑦2～3月：研修

※担当教員が巡回する予定。

⑧2019年4月：事後研修（詳細は未定、後日発表）

8. 説明会

①12月5日（水） 17:00～17:30 BT24階人間環境学部資料室内

②12月7日（金） 12:00～12:30 BT24階人間環境学部資料室内

※①と②のどちらかに参加してください。

※担当教員に事前連絡をしてくれると対応がスムーズになりますが、事前連絡なしでもかまいません。

9. 問い合わせ先

何か問い合わせたいことがある場合は、担当教員の小島（skojima@hosei.ac.jp）までメールでお願いします。